

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	学校給食のセンター化事業		担当部署	教育委員会 教育総務課		
総合計画体系			根拠法令計画など	学校給食法・衛生管理基準		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	21年度
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なんと			終期	未定
(小項目)	教育行政					
施策	1	教育行政の充実				
基本事業	5	学校給食の充実と食育の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業対象	誰(何)を対象にしているか	児童・生徒・園児														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	今後も引き続き安全・安心な給食を安定的に実施するためには、給食の提供方式を現在の自校調理方式から共同調理方式へ移行することが望ましいと判断し、学校給食衛生管理基準等に適合した新たな新給食センターを市内に建設する。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	○建築工事 ○センター方式に対応した、アレルギー児への対応マニュアルの策定。 ○食材供給システムについての検討。 ○周辺の住民から要望があった事項への対応実施。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新給食センターの建設</td> <td>実施設計の策定</td> <td>本体工事に着手</td> <td>本体工事に着手</td> <td>新センター稼働</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	新給食センターの建設	実施設計の策定	本体工事に着手	本体工事に着手	新センター稼働		
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
新給食センターの建設	実施設計の策定	本体工事に着手	本体工事に着手	新センター稼働												

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	○財源として予定していた文部科学省の補助金が不採択となったため、予定していた建設工事の着手が1年遅れることとなった。このことから、新センターの稼働も1年遅れることとなったため、議会、関係者及び市民への周知を行うとともに、補助金採択に向けての要望活動を行った。その結果、国の平成27年度補正予算において、新センター建設に係る補助金の採択を受けることができたことから、平成28年度より建築工事に着手することとなった。 ○国庫補助金の採択を受けた後、速やかに建設工事が実施できるよう、建設予定地に現存する建物(旧農業センター)の解体撤去を行った。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 予定地周辺住民、保護者、関係者への説明	説明会の開催	文書による周知	予定地周辺住民への説明	新センター稼働に係る周知	—	
	2 実施設計・整備工事	実施設計の策定	現存建物の解体撤去	本体工事に着手	工事完了・稼働開始	—	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	新給食センターの建設	実施設計の策定		—	—	—	
目標達成率(実績/目標)				—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況		遅れている			

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		72,987	0	367,800	0	94,213	535,000
		全体予算額		69,002	0	510,900	0	435	580,337
		決算額		0	0	45,600	0	38	45,638
		繰越額		69,002	0	465,300	0	396	534,698
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
			1.0	0.0	6,859	52,497			

【事務事業名:学校給食のセンター化事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	23,363	45,638	1,722,000	-	
	うち一般財源	9,163	38	147,506	-	
	人件費	6,878	6,859	6859	-	
	総事業費	30,241	52,497	1,728,859	-	

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		補助金採択に向け、関係省庁等への働きかけを行った結果、国の補正予算において、採択を受けることができた。
	効率性	A:効率的だった		補助金採択に向け、関係省庁等への働きかけを行った結果、国の補正予算において、採択を受けることができた。
②成果に対する評価	指標名	新給食センターの建設		当初予定していた平成27年度からの工事着手を行うことができなかった。
	目標	本体工事に着手	0	
	実績	0	0	
	評価	D:目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		当初予定していた平成27年度からの工事着手を行うことはできなかったが、補助金採択に向けた関係省庁等への働きかけの結果、国の補正予算により採択を受けることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	国の補助金の採択を受けて、平成28年度より建設工事に着手することとなった。 新学校給食センターの稼働に向けて、工事の進捗管理を適切に行うとともに、運用面の検討を進める。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	建設工事に着手するとともに、稼働に向けた運用面の検討を進める。			
	平成29年度	平成29年8月末の稼働に向け、給食受配校の整備や、調理員の研修等を行う。			